

風力発電に対する反対要請書

経済産業大臣 梶山弘志 様
環境大臣 小泉進次郎 様
北海道知事 鈴木直道 様
石狩市長 加藤龍幸 様
当別町長 宮司正毅 様

石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八の沢及び当別町西当別
風力発電事業に反対する要請について

厚田区住民有志 福岡幸一・福岡順子・本吉春子
一般社団法人 北海道統合医療協会 代表理事 西谷雅史
風力発電の真実を知る会 代表 佐々木邦夫
石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 代表 安田秀子

私たちの暮らしている地域に(仮称)石狩市厚田区聚富望来風力発電事業(4,000~6,000KW・最大8基)、(仮称)石狩聚富風力発電事業(3,000~6,000KW・最大22基)、(仮称)八ノ沢風力発電事業(3,000KW・7基)、(仮称)石狩郡当別町西当別風力発電事業(4,000KW・最大12基)の巨大風力発電事業が進められています。

私たちの住んでいる地域はススキ、ヨシの原野と農耕地が広がり奥に多くの山林があります。キタキツネ、タヌキ、エゾシカ、エゾリス、シマリス、エゾユキウサギ、多種のネズミなどの動物とニホンマムシ、アオダイショウ、ニホンアマガエル、などが生息しています。また季節ごとにウグイス、アカゲラ、ヤマゲラ、ムクドリ、キジバト、アオバト、ヨタカ、オオジシギ(八の沢でも営巣)、コハクチョウ、オオワシ、オジロワシ、クマタカ、ノスリなど、40種類以上の野鳥が確認されています。さらに、年2回のトンボの大発生など自然環境が豊かな場所です。この環境を守り続け次世代まで残すべきです。

私たちは原発の「安全神話」を経験しており、風力発電は全て安全とはなりません。

- 理由1：大型風車の低周波の健康被害(めまい、頭痛、耳の圧迫感)と騒音障害(睡眠障害)が心配です。陸上も海上も風車だらけにしてよいのですか？この地に安心して住み続けたいのです。
- 理由2：貴重な財産である生態系のバランスを壊すことは許せません。
- 理由3：オーストラリアから子育てにやって来る準絶滅危惧種オオジシギ(ラムサール条約)、天然記念物のオオワシ、オジロワシなど野鳥のバードストライク及びバットストライクは許すことができません。
- 理由4：日中に限らず、日の出、月の出、星夜空の景観は市民共有の財産です。大型風車で壊さないで下さい。

賛同署名

氏名	住所

氏名 住所 ボールペンか万年筆で自筆(鉛筆不可)、「同上」「〃」は使わないでご記入下さい。ご署名いただいた個人情報は本署名以外には使用しません。ご協力よろしく申し上げます。

連絡先：福岡順子 〒061-3441 石狩市厚田区聚富211番地29号 ☎0133-60-3730